

検査結果報告書

報告書No.:3731-06021-1

株式会社 アユム 様

試験項目：抗ノロウイルス効果検証試験
試験方法：RT-PCR法
試料名：ハイクロール
濃度：80ppm(pH:5.69)
処理時間：3分
受付日：平成22年11月24日
報告日：平成22年11月29日

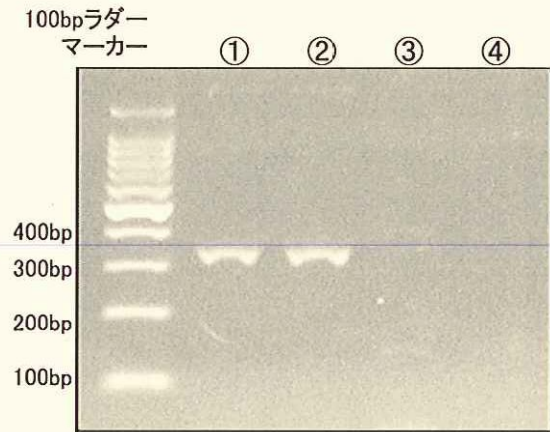
ビジョニバイオ株式会社

食品検査センター

福岡県久留米市百年公園1-1
久留米リサーチセンターナビル
TEL 0942-36-3100 FAX 0942-36-3101

検査責任者 平野 雅純

検査対象	検査結果
①対照区 (ノロウイルス懸濁液)	陽性 (+)
②対照区 (精製水添加処理)	陽性 (+)
③試験区 (被検試料添加処理)	陰性 (-)
④試験区 (被検試料添加処理)	陰性 (-)



(ノロウイルス陽性の場合は344bpの位置にバンドが出現)

【総評】

試験区ではノロウイルス遺伝子が検出されなかった。
よって、本検証試験条件下において、被検試料の抗ノロウイルス効果が
確認された。

<※試験の詳細は別紙参照>

- ◇ 本分析結果は、提出された試料に関するものであり、試料の母集団の属性について証明するものではありません。
- ◇ 弊社は当判定結果に限り責任を負うものであり、分析結果の取り扱い或いは分析結果によって生じる問題について関与するものではありません。



株式会社 アユム 様



ビジョンバイオ株式会社 食品検査センター

抗ノロウイルス効果検証試験(報告書別紙)

<検証目的> 抗ノロウイルス効果の検証

<試験材料> ノロウイルス・・・糞便由来ノロウイルス(Norovirus) <NV遺伝子2群に属するもの>

<試料名> ハイクロール

<試験施設> ビジョンバイオ株式会社内研究室(福岡県久留米市百年公園1-1)

<試験期間> 平成22年11月24日～平成22年11月29日

写真番号	各試験区の内容
①	ノロウイルス懸濁液(500 μ l)
②	精製水添加処理(ノロウイルス懸濁液100 μ l+精製水400 μ l)
③、④	被検試料添加処理(ノロウイルス懸濁液100 μ l+ 被検試料 400 μ l)

<備考> ・被検試料添加処理区(③及び④)に関しては試験精度の担保として並行検査を実施した。
・②～④での各処理時間は全て3分とした。

<試験の流れ>

